

第1班救護班を派遣。

能登半島南部～中部を中心に避難所と拠点本部で活動を開始。

【派遣期間】

令和6年1月4日(木)～1月9日(火)

【派遣職員】

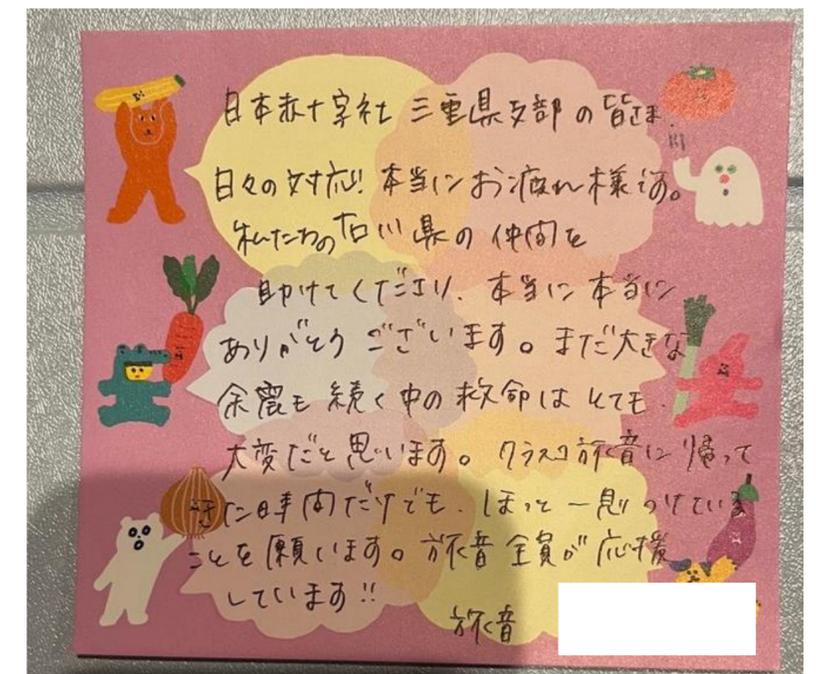
医師1名、看護師長1名、看護師2名、主事2名（薬剤師1名を含む）、支部職員2名の8名編成

【状況】

当院救護班は七尾市を中心に能登半島南部～中部を中心に活動させて頂きました。震源から少し離れるものの建物や道路の損壊は至る所で見られ、活動本部では避難所の状況把握が進まない状況でした。そこで救護班を派遣し避難所の状況把握をメインミッションとして行なっており、当院救護班は避難所活動と本部活動を担わせていただきました。5日は避難所の状況把握は6%でしたが、多くの救護班との協働により8日には50%を超える状況となりました。そのため活動中盤からは避難所の巡回診療や物資の搬送も実施させて頂きました。早朝から夜間までの活動であったため、宿泊先のスタッフに会うことは初日だけでしたが、最終日には写真のようなメモを頂き、現地の方に励まされてしまいました。次班はさらに北部の厳しい環境での活動が予測されるため帰院後も入念にチーム間の引き継ぎを行い活動を終了しました。



チームで避難所をアセスメントする様子



こころのこもったメモに癒されました